

2021-2030...

[概要版]

ふらの版 みらいを旅する NOTE



第6次富良野市総合計画

【前期基本計画】

まちの、そして
じ し ん たびちよう
わたし自身の旅帖です。

目的地がある「旅」もいい
目的地を決めない「旅」もいい
目的は場所でなくたっていい

一步一步
その歩みが「旅」をつくる

答えがない時代
まさに私たちは
その時代を旅している

わたしたちが歩む道に
未来が創られる

一步一步を歩みだそう

富良野の未来を
旅しよう

旅のノートを
埋めていこう





みらいを旅するための7の質問

1. 100年後にも残したい富良野の美しさって何ですか？...

-
-
-

2. あなたが「みらいを旅する」と聞いて想像するワクワクはどんなことですか？...

-
-
-

3. みらいの旅のために、どんな情報や道具を準備しますか？...

-
-
-

4. 旅のための健康・体力づくり、何をしますか？...

-
-
-

5. まだ富良野で体験していないコトってありますか？...

-
-
-

6. 旅の途中、困難にぶつかった時のために、どんなことを考えておくといいですか？...

-
-
-

7. あなたにとっての「みらいを旅する」一歩目は何ですか？...

-
-
-

2026 2027 2028 2029 2030

1							January
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

2						February
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3							March
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

4							April
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

5							May
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	
		1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			

6						June
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7							July
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

8							August
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	
			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

9							September
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	

30			10			October	
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

11						November
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12							December
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

2030

①	歳
②	歳
③	歳

総合計画の概要

「総合計画」は、地方自治体経営の最上位に位置付けられる計画で、中長期的な視点に立ち、新たな時代に対応できるまちづくりの指針となるものです。

総合計画は、中長期的なまちづくりの方向性と基本的な考え方を示す「基本構想」と、基本構想を踏まえて施策を体系的に示す「基本計画」から構成されています。

さらに基本計画は、特に力を入れて取り組む「重点施策」と、着実に取り組む「基本施策」に分けられます。

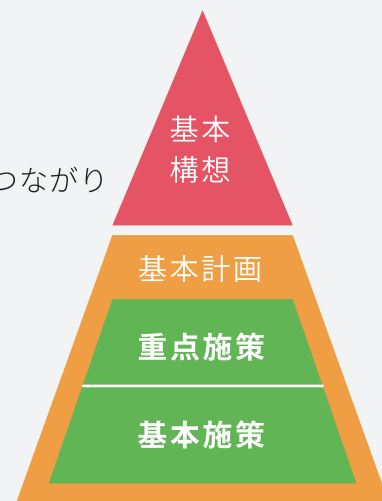
※人口減少克服・地方創生を目的とした「第2期富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「第6次富良野市総合計画」と密接な関係があるため、基本計画内の重点施策として位置付けています。

[基本構想]

- まちづくりスローガン：まちづくりの方向性、合言葉
- まちづくりメッセージ：スローガンに込めた思い、コンセプトとのつながり
- まちづくりコンセプト：まちづくりの基本的な考え方、観点

[基本計画]

- 重点施策：基本構想の実現に向けた重要課題に対し、特に重点的・分野横断的に取り組む施策
- 基本施策：基本構想の実現に向けた各分野の主要な課題に対する施策



[期間]

- 基本構想：10年間
- 基本計画：前期2年、中期4年、後期4年

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
計画期間	第6次富良野市総合計画 基本構想									
	前期基本計画		中期基本計画				後期基本計画			

総合計画策定の前提・大切な視点

少子高齢化や人口減少、環境問題などからくる複雑な社会課題、テクノロジーの急速な発展などこれまでとは社会構造が大きく変わってきています。

今までと同じ方法や考え方だけでは現状の維持すらも難しい時代が既に訪れています。

これまでに実施した、まちづくり 100 人協働ワークショップ や市民意識調査、地域懇談会などの声の分析、世の中の動向を広く収集することで、総合計画策定にあたっての「前提・大切な視点」を言語化することとしました。

01



未来は創るもの・構造変化に対応する新スタイルへの移行

- 人口減少をチャンスととらえる
- 「柔軟性」×「スピード」
- 「チャレンジ」を応援する
- 「真剣さ」×「遊び心」による創造性

02



「ひと」が中心であること

- 主役は誰か？
- 未来づくり人材が育つ環境とは？

03



「つながり」のアップデート

- 真の協働とは？
- 目の前の事象だけでなく、様々な要素のつながりを俯瞰^{ふかん}し、好循環を生み出す
- 未来を創るために、越境し、ボーダレスにつながる

04



富良野らしいユニークさがあること

- 美しい風景・自然を 100 年後の未来に
- 先人たちの知恵・歩みをアップグレード
- 地球の住人として富良野がリードできること

- 基本構想 -

まちづくりスローガン

「美しい」のその先へ。
WA! がまち、ふらの

まちづくりメッセージ

富良野には、「美しい」がいっぱいある。

美しい「自然」、美しい「こころ」、美しい「くらし」…。

100年後にも残したい
富良野にしかない「美しさ」。

もっとみがける。もっともっと創造できる。
まだ見ぬ「美しさ」。

ひとりが輝く。
つながることでさらに輝く。
輪になることで輝きつづける。

輪がひろがっていくことで、
予想もできない「わっ！」が起こるかも。

そんなふらののに住みつづけたい。
そんなフラノとつながってみたい。
そんな Furano を感じたい。

「美しい」のその先をみんなで見にいこう。

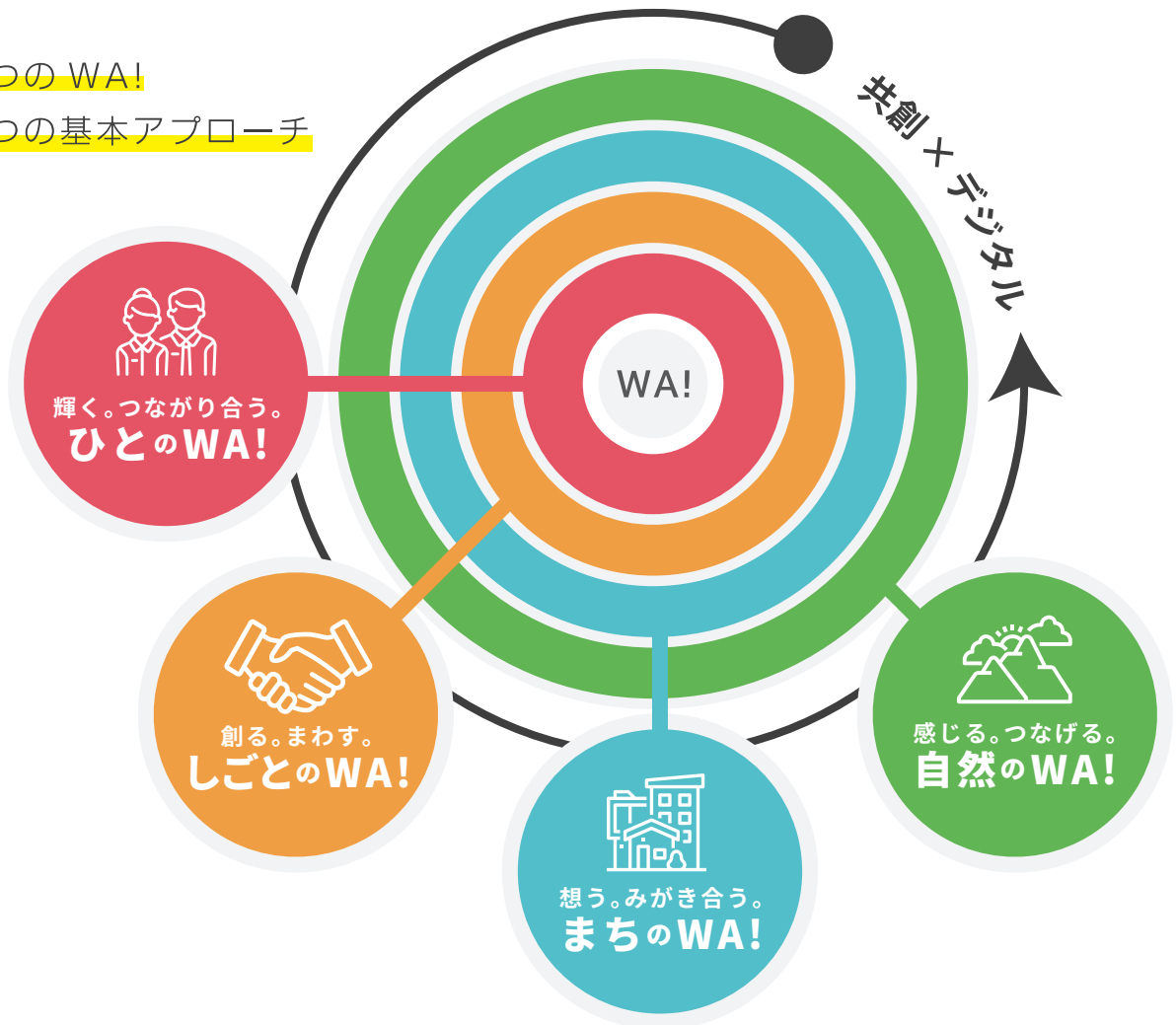


- 基本構想 -

まちづくりコンセプト

4つのWA!

2つの基本アプローチ



WA!

つながる（輪）

驚き（わっ!）

循環する（環）

やさしい（和）

誇れる（我が）



輝く。つながり合う。ひとのWA!

輝く。

一人ひとり、違っていい。
あらゆるひとが、輝きを増す
ように支援・応援し合う。

つながり 合う。

枠を越えてつながり合う
ことで新しい輝きが
うまれる。

ことばが持つ意味

<輝く。>

- 「輝く。」とは・・・
 - ・きらきら／光を放つ／注目／まぶしい。
 - ・イキイキとしている／楽しそう／笑顔／いきがい。
 - ・何かに一生懸命打ち込んでいる姿。
 - ・成長している様・成熟していること。
- 「一人ひとり、違っていい。」
 - ・個性や多様性があることを認める。
 - ・認め合う／承認されることでさらに輝く。
- 「支援・応援し合う。」
 - ・一方的なヘルプだけではなく、力を信じ、自立できるよう、
応援・支援し合う。
 - ・「輝き」がある情報を知り、出番をつくってあげる。

<つながり合う。>

- 「つながり合う。」とは・・・
 - ・結ばれて一続きになる／継続する／関係がある／絆。
 - ・共感がある。
 - ・同じ目的を持つ。
- 「枠を越えて」
 - ・立場や年代、様々な壁を取り払う。
 - ・自治体の枠や地理的制約などを取り払う(道外、海外・・・)



創る。まわす。しごとのWA!

創る。

新たな付加価値を創造する。
新しいしごとを創り出す。

まわす。

地域を越えて
「ひと・カネ・価値」の循環
を創り出す。

ことばが持つ意味

<創る。>

- 「創る」とは・・・新しいものを生み出す／興す／New／産む
／挑む／育てるなど。
- 「新たな付加価値を創造する。」
 - ・今あるものを伸ばす、見直す、プラスアルファを創る。
 - ・「農業」×「観光」など掛け合わせを行う。
- 「新しいしごとを創り出す。」
 - ・新規起業者の創業場所として／今までにない新しい仕事
の創出の場として
 - ・挑戦できる機会・応援がある。
- 「創る」のその先は？ 稼ぐ≠付加価値。
 - ・所得が上がることで将来への安心、活力につながる。

<まわす。>

- 「まわす」とは・・・循環
 - ・「循環する経済」を創り出す。
 - ・様々な要素が相互に良い形でつながり合い、持続性がある
状態を創る。
- 「地域を越えて」
 - ・地域内外を越えて、ボーダーレスに循環を創る。
- 「ひと・カネ・価値」
 - ・経営視点をもって、「ひと」の循環／カネの循環／価値
(＝モノやサービスの価値)の循環を創る。



想う。みがき合う。まちのWA!

想う。

現在、過去、未来。それぞれの地域。富良野が持つ魅力を大切に想う。

みがき合う。

大切にしてきたものをみがき合い、新たなスタイルを創造する。

ことばが持つ意味

＜想う＞

- 「現在、過去、未来」
 - ・過去と今の「美しさ＝魅力」を再確認し、未来へ。
- 「それぞれの地域」
 - ・地域によって特徴があり、想い(郷土愛)はそれぞれ。
 - 違いを大切にしていく。
- 「富良野の持つ魅力」
 - ・魅力とは? 自然、人、文化、生活スタイル・・・など。
 - ・一人ひとり感じる魅力は別々。多様性。
 - ・型にはめない富良野の「美しさ」。

＜みがき合う＞

- 「大切にしてきたものをみがき合い」
 - ・これまで積み重ねられてきたものを再認識し、自分本位になることがないよう、「まち」にとってより良い形にしていく。
- 「新たなスタイルを創造」
 - ・今までのやり方のままでは持続・維持は難しい。個人、地域が持続的に暮らせる形を創造する。
 - ・短期で捉えると日常的なスタイルだが、長期で捉えると、人生のスタイル。日々の暮らしの豊かさだけでなく、人生の豊かさ。新たな豊かさの定義を再考。
 - ・一度外に出て、成長し、帰ってこれる(帰って来たくなくなる)富良野の魅力。
 - ・共創・デジタル利活用による「まち磨き」。



感じる。つなげる。自然のWA!

感じる。

恵まれた自然から受ける恩恵を感じる。小さな環境の変化を見逃さない。

つなげる。

豊かな自然環境を未来へつなげる。新しい価値へとつなげる。

ことばが持つ意味

＜感じる＞

- 「自然」は、まず感じてみるのが大切。
- どこで感じるか?
 - ・「五感」で感じる・・・視/聴/味/触/嗅覚。
 - ・「心」で感じる・・・想像する。本質をつかむ。
- どのような感情が生まれるか?
 - ・残したい気持ち/誰かと共有したい気持ち。
 - ・癒される気持ち/気持ちをリセットできる。
 - ・「美しさ＝魅力」「あたりまえじゃない」「恩恵を受けている」ことへの感謝の感情など。
- 「小さな環境の変化」
 - ・積み重ねてある「今」の自然の持つ豊かさを残していくために、変化をキャッチする。

＜つなげる＞

- 「つなげる」・・・時間的につなげる/物理的につなげる。
- つなげるものは何か?
 - ・富良野にしかない「美しさ＝魅力」未来につなげていく。
 - ・自然があることで生まれる「新しい価値や魅力」を「ひと・しごと・まち」につなげていく。
 - ・エネルギーと営み・生活の循環。
 - ・農業と自然の共生。
 - ・災害と共存しながらも安心して暮らせるまち。

共創 × デジタル

共創

複雑な課題に対しあらゆる
枠を越えて「共創」すること
で新たな一歩目を創り出す。

デジタル

持続可能なまちづくりに向
けて、「データ」や「テクノロ
ジー」の利活用を推進する。

ことばが持つ意味

<共創>

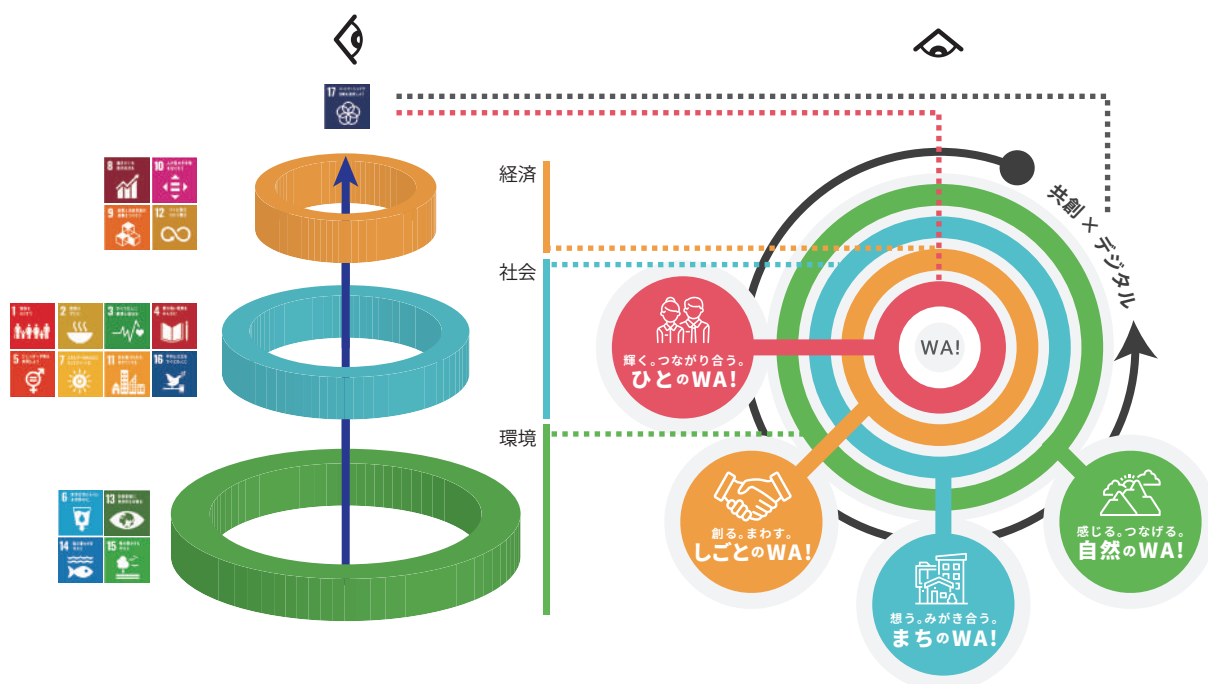
- 正解が一つではない、変化のスピードが速く、やってみないとわからないことが多い時代。これまでとは違った新たな価値創造が求められる。
- 「共創」とは、多様な立場の人たちが対話を重ね、新しい価値を「共」に「創」り上げていくこと。一歩進んだ協働・連携の形として、社会的課題の解決や新たな価値創造を目指す。
- テーマによってさまざまな共創の機会が創出されることを大切にする。

<デジタル>

- 社会課題の解決に向けて、「持続可能なまちづくり」の手段としてデジタルの利活用を行なう。
- 効率化・省力化にとどまらず、デジタルを活用した意思決定や広報戦略の見直しを行う。
- 富良野の良さをなくさないよう、アナログ的なことの大切さも見極めながら、目的に応じてデジタルを活用する。
- 「データ」の利活用・・・
仮説を立てる→データ収集・分析→データ利活用による自治体経営
- 「テクノロジー」の利活用・・・
科学技術の総称(ICT、AI、クラウド、ビッグデータ、ロボティクス、IoT等)。目的に合ったテクノロジーを活用、推進を行う。

基本構想の「まちづくりコンセプト」図は、SDGs との関連性も表現しています。

※SDGs エスディージーズ：Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。

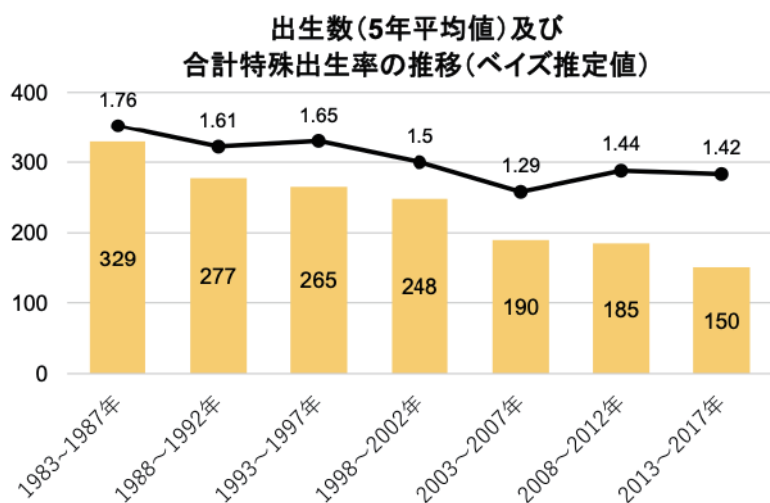


SDGs:17のグローバル目標

基本構想：まちづくりコンセプト

自然増減(出生数・合計特殊出生率の推移)

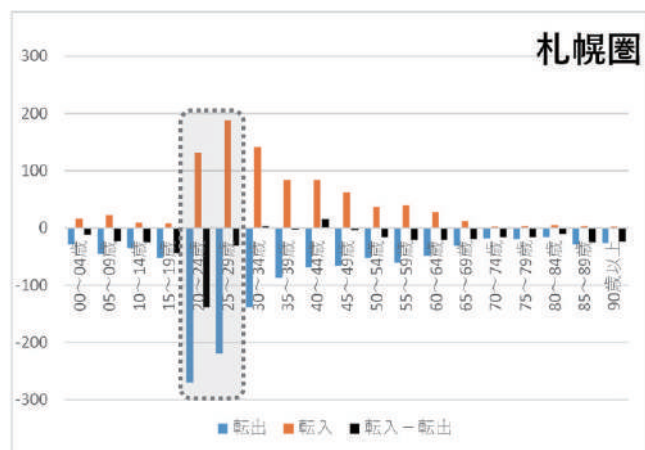
■出生率は、富良野市は2008年からは1.4程度で推移し、全国平均とほぼ同じ全道平均に比べると高くなっています。



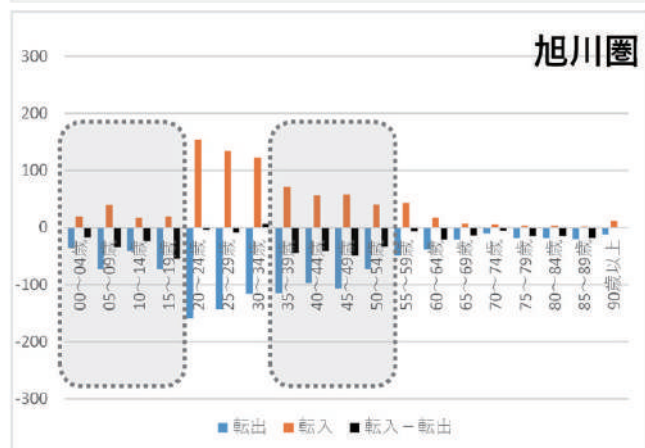
	2008年～2012年	2013年～2017年
全国	1.38	1.43
北海道	1.25	1.30
富良野市	1.44	1.42
近隣市町村		
上富良野町	1.66	1.62
中富良野町	1.52	1.46
南富良野町	1.35	1.36
占冠村	1.21	1.28
類似団体		
旭川市	1.31	1.38
士別市	1.36	1.46
名寄市	1.52	1.52

富良野市の社会増減：5歳階級別転出入状況

※住民基本台帳 H27-R1(2015-2019) 累計値



■札幌圏にはほとんどの世代が転出超過、特に20～24歳の転出超過が大きくなっています。高齢者の転出超過も少なくありません。

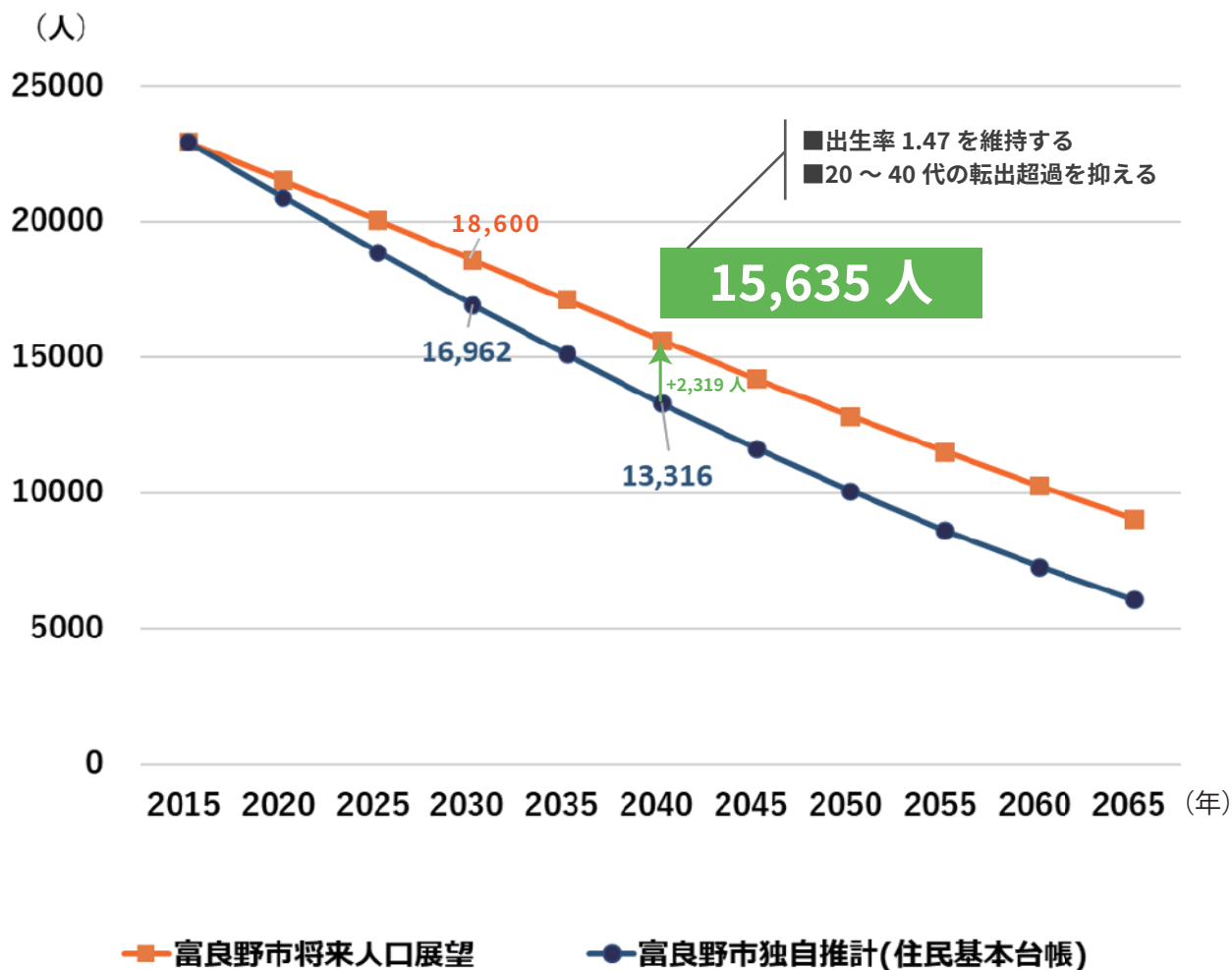


■旭川圏にはほとんどの世代が転出超過となっている中で、特に19歳以下の子供と35～54歳の転出超過が大きくなっています。

将来人口展望

- 20～40代の労働・子育て世代の転出超過と出生数の減少を抑制し、出生率は現状を維持することで、2015年社人研推計人口相当の人口推移となることを目指します。
(2040年時点で15,635人)
- 富良野市独自推計ベースによる予測と比べて、20～40代の純移動率を+8.3%
(2040年時点で+2,319人相当の増加)を目指します。

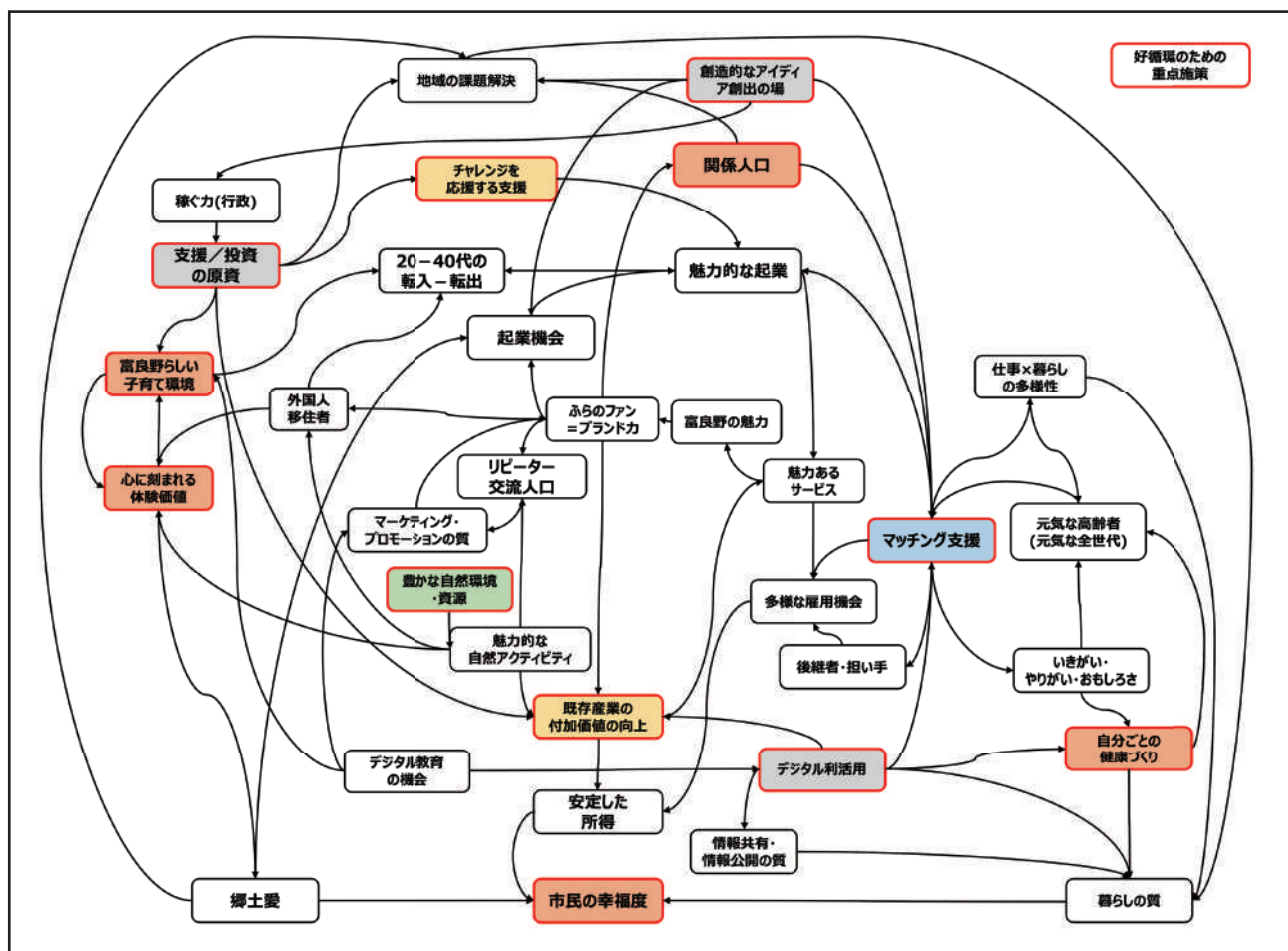
		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
富良野市 将来人口展望 (20-40代の純移動率 +8.3%)	富良野市独自推計	20,914	18,895	16,962	15,126	13,316	11,644	10,084	8,624	7,288	6,071
	2015年社人研予測相当	21,539	20,069	18,600	17,146	15,635	14,214	12,851	11,526	10,269	9,047
	増加目標-総数	624	1,174	1,638	2,020	2,319	2,570	2,767	2,901	2,981	2,976
	増加目標-男	306	579	816	1,015	1,167	1,295	1,396	1,463	1,499	1,491
	増加目標-女	318	595	822	1,005	1,152	1,275	1,370	1,438	1,482	1,485



前期基本計画 重点施策「富良野市好循環モデル」

総合計画策定プロセスで出てきた素材をもとに作られた「富良野市好循環モデル」です。

好循環を生み出すために特に重要な要素が重点施策になっており、一つひとつは独立したものではありません、相互に作用し合い、つながり合っています。



この図は、因果ループ図と呼ばれるシステム思考のツールです。

複雑な課題において構造的な変化を生み出すためには、局所的に問題を分解する方法では応急処置にとどまってしまう、問題を生み出す構造に目を向けなければならなくなっています。

問題の構造を見極めると同時に、ありたい状態（＝好循環モデル）を構造化していくために、対策を打つ場所を見極めていくために、ループ図を活用しました。要素と要素のつながりを考慮しながら問題解決を進めていく必要があります。



前期基本計画 重点施策一覧



輝く。つながり合う。 ひとの WA!

1. 市民一人ひとりが幸福を実感するまち

▼めざす状態（10年後）

「こころの豊かさ・美しさ」に焦点を当てた幸福度調査が定期的に行われ、様々な施策や取り組みが、市民の幸福度につながっている。

2. 富良野ならではの子育て環境づくり

▼めざす状態（10年後）

ライフステージごとに切れ目なく、地域全体で安心して子育てする環境があり、保護者の満足度が高い。

3. 郷土愛につながる富良野でしかできない『体験』の推進

▼めざす状態（10年後）

子どもから大人まで世代を問わず、「五感」で感じ、「心」に刻まれる富良野でしかできない「体験」をする機会がある。体験を通して、富良野を想う気持ちやアイデアがまちづくりに活かされたり、市外の方との交流が生まれたり、多様なつながりがある。市外に進学や就職したとしても、富良野を大切に想い、継続的なつながりがある。

4. いつまでも健康で自立できる心と体づくり

▼めざす状態（10年後）

市民が主体的な健康習慣を持ち、自立した生活をおくることができる。

5. 富良野につながっている人が増える仕組みづくり

▼めざす状態（10年後）

富良野に住んでいなくても地域に多様に関わっている、関わりたいと思う人（＝関係人口）が増えている。関係人口の人たちがまちづくりに実際に関わる仕組みが機能している。



創る。まわす。 しごとの WA!

1. 新たなチャレンジを応援する

▼めざす状態（10年後）

新たに就農や起業したいと思う人への応援が、富良野の活力につながっている。新たな挑戦をする人が集まり、増えることで、次なる挑戦者が増えていく。

2. 地域内産業の付加価値を高め、稼ぐ力を強化する

▼めざす状態（10年後）

地域内産業（農業・観光・商工など）の付加価値が高まり、市民の所得が向上している。



想う。みがき合う。 まちの WA!

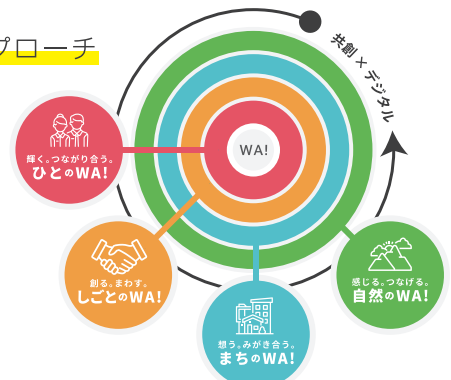
1. マッチングを通じて新たな価値を創造する

▼めざす状態（10年後）

人・情報・もの・カネ・場所などが繋ぎ合わされ（＝マッチング）、「ひと・しごと・まち・自然の WA!」が大きくなっている。マッチングにより、個人や地域の課題解決や、新たな価値が創造されている。富良野のブランド力が高まり、価値が広く認知されている。

4つの WA!

2つの基本アプローチ



感じる。つなげる。 自然の WA!

1. 豊かな自然環境を 100 年後につなぐ

▼めざす状態（10年後）

住む人も訪れる人も、自然から豊かな恩恵を受けている。自然との共生を前提としたさまざまな取り組みに磨きがかかり、富良野から発信している。

● 共創 × デジタル

共創：アイデアが生み出されカタチになる仕組みづくり

▼めざす状態（10年後）

アイデアが生み出され、「まちづくり」や「ひとの成長」につながっていく機会が継続的にある。創造的なアイデアが生まれやすい環境があり、様々な人が集まっている。

デジタル：デジタル利活用による行政サービスの向上

▼めざす状態（10年後）

産業構造や社会経済が大きく変革する時代の転換期を乗り越えて、住民の誰もが目的に応じてデジタル化の恩恵を受け、幸せに暮らすことができる。富良野ならではのスマートシティに向けた取り組みがある。

原資：未来への原資を生み出し続ける

▼めざす状態（10年後）

多様なつながり・チカラを結集させ、未来への原資を独自に生み出し続けている。

前期基本計画 基本施策一覧

主 軸	分 野			施 策		
	分野名		分野の方針	施策名		施策の目的
輝く。 つながり合う。 ひとのWA!	1	子育て	子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てをするまちの実現	1	子育て	切れ目のない子育て支援
	2	学校教育	心豊かでたくましい子どもたちを育むまちの実現	1	小中学校教育	確かな学力の育成、教育環境の充実
				2	高校教育	市内高校の魅力づくりと生徒の確保
				3	特別支援教育	特別支援の多様化への対応と支援
	3	社会教育	創造性にあふれ、地域を愛する人材を育むまちの実現	1	家庭教育	家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進
				2	生涯教育	人々の暮らしの向上と人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
				3	文化財保護	文化伝承活動と社会教育施設整備の推進
	4	健康・医療	心身ともに健康に暮らせるまちの実現	1	健康	ライフステージに応じた市民の健康づくりの推進
				2	地域医療	地域医療体制の充実
	5	福祉	誰もが自分らしく暮らせるまちの実現	1	社会福祉	自分らしく暮らせる地域づくりの推進
				2	高齢者福祉	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援の充実
				3	障がい者福祉	障がい者が安心して暮らせる共生社会の推進
	6	共生	市民が国籍や性別などに関係なく、相互の人権を尊重し合えるまちの実現	1	人権尊重	人権への理解促進、普及啓発
				2	男女共同参画	男女共同参画社会の推進
				3	多文化共生	相互の文化等を認め合う環境の構築
7	文化・スポーツ	文化・スポーツ活動を楽しむまちの実現	1	文化・芸術	多様な文化・芸術に親しめる機会の充実、環境の整備	
			2	スポーツ	スポーツ活動の推進、スポーツ環境の整備	
8	移住・定住	人口減少化における人口・人材を確保するまちの実現	1	移住・定住	雇用と住環境を組み合わせた移住・定住の促進	
9	関係人口	人口減少化における関係人口を創出するまちの実現	1	関係人口	富良野を想う人とのつながりの創出と強化	
創る。 まわす。 しごとのWA!	1	産業	多様な地域資源の活用、チャレンジする活力があるまちの実現	1	農業	農業・農村の持続性の確保
				2	林業	森林の適正な管理と保全
				3	商工業	多様な業種による均衡のとれた商工業の推進
				4	観光	オールシーズン滞在型の国際観光地の推進
				5	ワイン	ワイン事業の安定的な振興
	2	雇用・労働	安心して働けるまちの実現	1	雇用・労働	多様な働き方と働く場の創出
想う。 みがき合う。 まちのWA!	1	都市基盤	快適な都市空間を形成するまちの実現	1	道路	安全で快適な道路空間の確保
				2	河川	災害に強い河川の維持管理
				3	公園	安全で快適な公園の充実
				4	上下水道	安全な上下水道の安定供給と持続性の確保
				5	都市計画	富良野らしい良好な都市計画の形成
				6	中心市街地	コンパクトシティの推進
				7	地籍調査	地籍調査の円滑な推進
	2	住宅	多様な世代・世帯が安心して住み続けられるまちの実現	1	住宅	良好な居住環境の形成
				2	空家	空家対策の推進
	3	地域公共交通	利便性の高い地域公共交通を形成するまちの実現	1	地域公共交通	総合的な地域公共交通体系の構築
	4	情報ネットワーク	デジタルを目的に応じて利活用できるまちの実現	1	情報ネットワーク	情報ネットワーク環境の充実と活用
	5	安全安心	安心・安全で快適に暮らせるまちの実現	1	消防・救急	消防力及び救急体制の強化
				2	防災・減災	防災対策の推進、防災意識の啓発と高揚
				3	地域コミュニティ	地域コミュニティの再構築と活性化
				4	交通安全	交通安全対策の充実
				5	防犯	防犯対策の充実
				6	市民相談・消費生活	市民相談・消費生活相談の充実
	6	行財政	効率的で効果的な行財政力が発揮されるまちの実現	1	行政運営	効率的な行政運営
				2	財政運営	健全な財政運営
感じる。 つなげる。 自然のWA!	1	自然環境	人と自然、地球にやさしいまちの実現	1	地球温暖化・環境保全	地球温暖化対策の推進、環境負荷の少ない持続的な社会の構築
				2	ごみ減量・再資源化	ごみ減量化、リサイクル対策の継続的な推進
				3	景観保全	富良野らしい良好な景観の形成



「共創」って何だろう？

少子高齢化・人口減少など、急速に社会構造が変化し、地域やコミュニティの課題が複雑化しています。従来の方法のみでは限界があり、行政の力だけでは課題を十分に解決することは困難になってきています。

未来において、より良い社会をつくり出していくためには、行政と民間事業者と市民とが、より高度な形で協働していく必要があります。実際に、官民共創の流れは世界的なものになってきています。

「共に新たな価値を創造していく」ことで、課題解決につながっていく「コト」が生まれることが「共創」の概念です。

「共創」のためのキーワード KEYWORD

★オープンにつながる

多様な方が集まる。肩書や序列ではなく、フラットな関係。それぞれの持つ経験や能力、想いなどによって化学反応が起こりやすい場をつくる。

★対話

絶対の答えがない複雑な課題。
何が起きているか構造をみんなで探り、
ありたい未来を描く。
好奇心と探求心で対話を深める。

★(できることを)やってみる・改良する

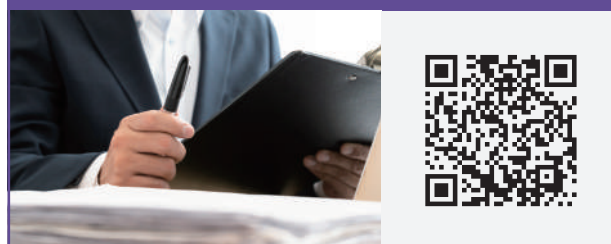
対話によって浮かび上がってきた
アイデアを、実際に具現化していくために、
役割を適切に分担しながら試行してみる。
やってみて見えてくることをもとに、
さらに改良していく。

関係リンク集

市民協働100人ワークショップ・ハーベストレポート



市民意識調査



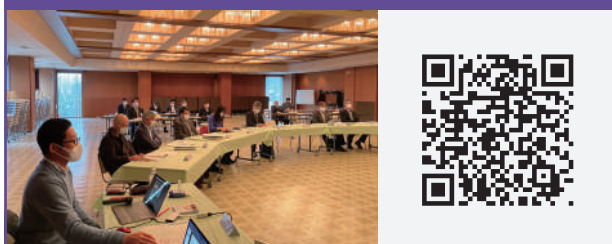
転出入者アンケート



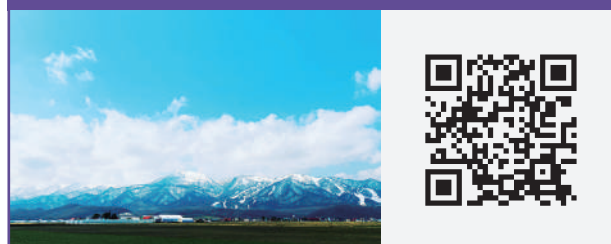
地域懇談会



有識者会議



パブリックコメント(基本構想)



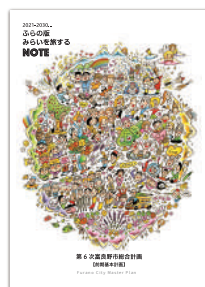
パブリックコメント(人口ビジョン・前期基本計画)



まちづくりワークショップ ショートムービー



さらに詳しく ...



ふらの版みらいを
旅する NOTE
本資料電子 (162P)

